

2020年8月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月9日

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス
 コード番号 2927 URL <https://www.ams-life.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 浅山雄彦
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 土屋昭弘

TEL 054-281-5238

四半期報告書提出予定日 2020年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第1四半期の連結業績(2019年9月1日～2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第1四半期	3,853	9.6	261	21.0	260	26.4	161	28.9
2019年8月期第1四半期	4,261	10.8	330	23.0	353	35.6	227	27.9

(注) 包括利益 2020年8月期第1四半期 187百万円 (19.7%) 2019年8月期第1四半期 233百万円 (27.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第1四半期	11.48	
2019年8月期第1四半期	16.15	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第1四半期	18,680	10,086	54.0
2019年8月期	18,327	10,109	55.2

(参考) 自己資本 2020年8月期第1四半期 10,086百万円 2019年8月期 10,109百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期		10.00		15.00	25.00
2020年8月期					
2020年8月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年8月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日～2020年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,200	1.7	460	23.1	460	25.6	300	40.3	21.33
通期	16,500	1.5	1,050	7.0	1,050	3.5	700	10.6	49.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期1Q	14,144,720 株	2019年8月期	14,144,720 株
期末自己株式数	2020年8月期1Q	80,969 株	2019年8月期	80,969 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年8月期1Q	14,063,751 株	2019年8月期1Q	14,063,751 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米中の貿易摩擦や中国経済の成長鈍化など海外情勢に不透明感が漂っているものの、企業収益は高水準を維持し、雇用・所得環境は継続的な改善がみられるなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループが属する健康食品市場は、インバウンド消費の失速や自然災害などの影響により軟調となったものの、近年、主力ユーザーである中高年齢層に加え、引き締まった身体づくりやスポーツのパフォーマンス向上などを目的として、若年層における需要が続いております。

このような状況の下当社グループでは、美容商材の伸長により海外部門の売上高が前年同期比2桁増となったものの、前年同期に好調であった乳酸菌・酵母関連商品の受注減少によりOEM部門が減収となり、当第1四半期の連結売上高は3,853百万円（前年同期比9.6%減）、営業利益は261百万円（同21.0%減）、経常利益は260百万円（同26.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は161百万円（同28.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(ヘルスケア事業)

・OEM部門

当社グループの基幹事業である当部門は、前期に続き機能性表示食品届出のサポートを強化いたしました。また、ドラッグストア向けの定番商材が好調を維持いたしました。一方、前年同期に好調であった乳酸菌・酵母関連商品の受注が減少したことなどにより、当部門の売上高は前年同期を下回りました。

・海外部門

アジア地域を主な取引先とする当部門は、既存顧客において受注が安定的に推移したことに加え、インドネシアの顧客において美容商材が伸長いたしました。その結果、当部門の売上高は前年同期比2桁増となりました。

・通信販売部門

定番人気商品『薬用アミノ酸シャンプー爽快柑』をはじめ、“爽快柑シリーズ”を商材とした記事広告などの新聞広告投下により新規顧客の獲得が順調に推移したほか、同シリーズの受注が伸長いたしました。しかしながら、結婚、出産、子育て世代に向けた“miteteシリーズ”の受注が減少したことなどにより、当部門の売上高は前年同期並みとなりました。

・卸販売部門

販路拡大及び販売強化を目的として積極的に展示会や販売会へ出展いたしました。前期に続き、海外販売を行う国内事業者から『ナットウキナーゼ』の受注が伸長したほか、主力商品“ハートフルシリーズ”などが安定的に推移いたしました。しかしながら、販売促進活動が足らず“miteteシリーズ”が苦戦したことにより、当部門の売上高は前年同期並みとなりました。

・店舗販売部門

2019年9月に人気商材『ラ・ヴィ・プラセンタ』のパッケージをリニューアルし、販売を強化したことにより、同商品が好調な売れ行きとなりました。また、機能性表示食品『RICHルテイン25』が市場ニーズに合致し、好調を維持いたしました。その結果、既存店ベースでは前年同期の売上高を上回ったものの、店舗数の減少による影響を補い切れず、当部門の全体の売上高は前年同期並みとなりました。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高3,520百万円（前年同期比10.8%減）、営業利益388百万円（前年同期比13.7%減）（全社費用調整前）となりました。

(医薬品事業)

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアやインターネットで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品につきましては、医療用ジェネリック医薬品である『ピムロ顆粒』が順調に売上を伸ばしました。また、『シルデナフィル錠』（勃起改善薬）、『フィナステリド錠』（AGA治療薬）につきましても、重点販売商品として営業を強化したことが奏功し、売上拡大に繋がりました。

一般用医薬品につきましては、医薬品のインターネット販売が解禁され5年が経過し、漢方薬のPB受注が増加いたしました。

以上の結果、医薬品事業の業績は、売上高が332百万円（前年同期比5.5%増）となったものの、増加したジェネリック医薬品製造設備の減価償却費などを賄いきれず、営業損失7百万円（前年同期は15百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ245百万円増加し、9,875百万円となりました。この増加要因は主として、受取手形及び売掛金が60百万円減少した反面、商品及び製品が148百万円、原材料及び貯蔵品が89百万円、現金及び預金が89百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ107百万円増加し、8,804百万円となりました。この増加要因は主として、投資その他の資産のその他が85百万円、無形固定資産のその他が49百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ399百万円増加し、7,295百万円となりました。この増加要因は主として、未払法人税等が131百万円減少した反面、支払手形及び買掛金が319百万円、流動負債のその他が187百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ22百万円減少し、1,298百万円となりました。この減少要因は主として、返済により長期借入金が25百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ23百万円減少し、10,086百万円となりました。この減少要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、前期末の配当により利益剰余金が49百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年10月10日の「2020年8月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,437,201	4,526,445
受取手形及び売掛金	2,163,999	2,103,608
商品及び製品	1,088,030	1,236,227
仕掛品	819,215	875,676
原材料及び貯蔵品	916,063	1,006,001
その他	236,960	179,233
貸倒引当金	△31,920	△51,689
流動資産合計	9,629,550	9,875,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,853,907	2,818,707
土地	3,895,432	3,895,432
その他(純額)	1,107,052	1,121,532
有形固定資産合計	7,856,393	7,835,673
無形固定資産		
のれん	1,020	765
その他	147,596	196,794
無形固定資産合計	148,617	197,560
投資その他の資産		
その他	714,083	799,271
貸倒引当金	△21,563	△27,558
投資その他の資産合計	692,520	771,712
固定資産合計	8,697,530	8,804,946
資産合計	18,327,080	18,680,450
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,814,273	2,134,064
短期借入金	3,593,459	3,584,891
未払法人税等	245,855	114,848
賞与引当金	171,000	201,271
ポイント引当金	19,137	20,645
その他	1,052,474	1,239,696
流動負債合計	6,896,200	7,295,416
固定負債		
長期借入金	485,802	459,933
役員退職慰労引当金	180,858	184,973
退職給付に係る負債	425,693	436,723
負ののれん	1,126	985
その他	227,552	216,344
固定負債合計	1,321,033	1,298,960
負債合計	8,217,233	8,594,377

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,131,839	2,131,839
資本剰余金	2,195,880	2,195,880
利益剰余金	5,913,891	5,864,339
自己株式	△59,284	△59,284
株主資本合計	10,182,327	10,132,775
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△67,431	△43,198
為替換算調整勘定	△5,048	△3,504
その他の包括利益累計額合計	△72,479	△46,702
純資産合計	10,109,847	10,086,072
負債純資産合計	18,327,080	18,680,450

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)
売上高	4,261,072	3,853,156
売上原価	3,050,768	2,696,309
売上総利益	1,210,303	1,156,847
販売費及び一般管理費	879,344	895,324
営業利益	330,959	261,523
営業外収益		
受取利息	14	807
受取配当金	4,950	1,315
投資有価証券売却益	18,981	269
受取賃貸料	5,203	5,464
負ののれん償却額	140	140
その他	4,996	3,415
営業外収益合計	34,287	11,411
営業外費用		
支払利息	9,677	8,508
投資有価証券売却損	—	472
その他	1,970	3,544
営業外費用合計	11,647	12,525
経常利益	353,599	260,409
特別利益		
固定資産売却益	—	175
特別利益合計	—	175
特別損失		
固定資産除却損	0	5,235
特別損失合計	0	5,235
税金等調整前四半期純利益	353,599	255,349
法人税、住民税及び事業税	120,897	97,444
法人税等調整額	5,590	△3,499
法人税等合計	126,488	93,944
四半期純利益	227,110	161,404
親会社株主に帰属する四半期純利益	227,110	161,404

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)
四半期純利益	227,110	161,404
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,025	24,232
為替換算調整勘定	—	1,544
その他の包括利益合計	6,025	25,776
四半期包括利益	233,135	187,181
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	233,135	187,181
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,945,932	315,139	4,261,072
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,945,932	315,139	4,261,072
セグメント利益又は損失(△)	449,755	△15,037	434,718

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	434,718
全社費用(注)	△103,758
四半期連結損益計算書の営業利益	330,959

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,520,687	332,469	3,853,156
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,520,687	332,469	3,853,156
セグメント利益又は損失(△)	388,110	△7,829	380,281

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	380,281
全社費用(注)	△118,757
四半期連結損益計算書の営業利益	261,523

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。